



取締役頭取

金城棟啓

## GREETING ごあいさつ

皆さまには、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

今年も、多くの皆さまに琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」(2012年版ディスクロージャー誌)を作成しました。

平成23年度の国内経済は、東日本大震災後の復旧に伴う急回復の後、円高による輸出の鈍化などから年度中盤以降には踊り場的な状況となりましたが、数次にわたる補正予算の成立とそれにより復活したエコカー補助金などの政策効果から、年度終盤には持ち直しの動きとなりました。

県内経済は、震災後の旅行自粛ムードにより観光が弱い動きとなったことから、年度初めは後退しつつありましたが、その後は震災の影響が徐々に払しょくされるにつれて入域観光客数が増加に転じたことから観光が持ち直し、さらに個人消費の一部に堅調な動きが続き、建設においても住宅着工が増加するなど、年度中盤以降は持ち直しの動きが強まりました。

このような環境のもと、当行は、中期経営計画「RISING PLAN 2010」(平成22年4月～平成26年3月)に沿って営業チャネルの拡大等に取り組んできましたが、当行を取り巻く金融環境の変化を踏まえ、平成24年4月から新たな中期経営計画「Break Through 2012」(平成24年4月～平成27年3月)をスタートさせました。

新中期経営計画では、「スピード&クオリティー」と「地域への貢献」という二つの理念をベースに、「営業態勢の革新」、「専門性の高い人材の育成・採用」、「地域経済の発展に貢献」、「リテール営業力、フィービジネスの強化」の四つの戦略に全力で取り組み、「お客さまから選ばれる銀行」を実現し、厳しい競争を勝ち抜いてまいります。

当行はこれからも、コンサルティング機能の発揮を通して沖縄の持つ高いポテンシャルを最大限に引き出すことで、地域の持続的な発展に貢献する沖縄のリーディングカンパニーとしてお客さまからの信頼と支持をいただけるよう努めてまいります。

平成24年7月